

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10

17.2/4

国立公文書館	
分類	返 赤
配架番号	3 A
	14
	17-21-1

17-21-1

答 豫算ノ關係上差向於議困難ナリ

三 演習費使用區分ヲ緩和セラレタシ

理由

演習費使用區分ヲ指示セラルル為メ教育演練ヲ聯隊長ノ希望スル如ク運用

困難ナルヲ以テナリ

答 特ニ変更ノ必要アラハ理由ヲ附シ提出セラレタシ

四 他兵種トノ連合演習費ヲ特別ニ配當セラレ度件

理由

✓ 本年度ニ於テハ演習費配當額削減セラレン為メ砲兵トノ連合演習ハ

實施困難ノ狀況ニ在リ之ニ要スル經費ヲ支給セラレ度

答 配當豫算内ニテ計畫實施セラレタシ

但シ本年度ニ限リ特別ニ考慮スヘシ

五 出征幹部臨時交代實施方取計ハ度件

国立公文書館	
分類	
配架番号	17-21-1

幹部ヲレテ可成多ク實質戰ノ體驗シ得セシムト共ニ實戰的教育ヲ原  
隊ニ普及スルコト緊要ナルニ依ル

答 趣旨ハ諒トスルモ中央部ハ補充員ノ外交代セシメサル方針ニ付義和アリ  
六、滿洲派遣部隊補充要員出發日時統制方取計ノ件

理由

從來補充要員ノ出發ヨリ數宛小刻ニ實施セラルル為メ業務ヲ繁  
雜ヲシムルヲ以テ將來可成取纏メ實施セラル、採上司ニ取計ハレ度

答 其筋ニ意見提出スヘシ

七、機關銃隊ヲ連カニ大隊配屬トスル如ク上司ニ取計ハレ度

理由

重火器トノ協同演練頗ル緊要ナルモ目下ノ編成裝備上之ヲ分割配  
屬シ得ス應急處置機關取計ハレ度

答 兼リ置ク

八、當隊乗馬ノ素質不良ナルモノ多キハ過剩馬ノ喪失モノ多キカ為ナリ  
將來交換ノ際將校乗馬ヲ以テ補充セラレタレ

理由

從來多クハ特科隊下士官以下ノ乗馬ヲ以テ補充セラレシタノ素質  
不良ナリ殊ニ昨年補充ノモノハ二頭共本年ニ於テ交換ヲ要スル程  
度ノモノナリ

答 將校乗馬タリシモノ、除役數ハ極メテ少キニ付努メテ資格良好ナル  
モノヲ補充スルコトニ注意スルニ本年ノ第二次補充ヲ行

フ答ナリ

九、バイクカー」一台ヲ備付ラレ度

理由

交通機關不便ナル孤立聯隊ニ於テ公務ノ為メ自動車ヲ使用スルノ止ナ  
キコト多クキニ依ル

答 詮議之難シ

一、厚別演習場ニ部隊休宿所設置ノ件

理由

練兵場ノ狹隘ヲ醫スル為メ厚別演習場ヲ活用スル目的ヲ以テ兵力ニ依リ之ヲ整理シ中隊以下ヲシテ常ニ該演習場ヲ利用セシムル如ク單簡ナル休宿所(五十坪位)ヲ設置セラレ度シ

答 詮議之難シ (厚別演習場ニ休宿所ニシテ)

二、月寒練兵場ノ排水設備ヲ完済セラレ度シ

理由 湿地ノ為メ重要部ノ使用困難ナル状態ニ在リ

答 豫算ノ關係上差向詮議困難ナリ

三、島根廠舎トハ菅間ニ軍用電柱ヲ架設セラレ度シ

理由

廠管間急リ要スル通信連絡ヲ相當多ク支障少ナカラズ將和他部隊ノ廠管スル際一層必要ナリト認ム所有テ行ハレ得ル所ナリ

答 其筋ニ要求スルニ未ダ實現ニ至ラズ

三、島根演習場一ノ森及旧廠舎跡附近ニ戦闘射撃材料ヲ貯ルニ倉庫ヲ設置セラレ度シ

理由

戦闘射撃及教練ノ為メ演習場内ヲ塵ク活用スル為メ及射撃材料運搬及雨天ニ當リ破損セシメサル為メ廠管間一時收容ニ得ル倉庫ヲ設置スルコト必要ナリ

答 豫算ノ關係上差向詮議之難シ

四、島根演習場廠舎本部建築改築ノ件

理由

狹隘ニシテ破損セル為メ本部要員ヲ收容シ難ク特ニ聯隊長軍旗

ヲ奉持シ兵員は同様気分ニアリ得サル状態ナリ

答、其筋は於テ實現方々考慮中ナリ

一、慰靈祭經費融通方ノ件

理由

慰靈祭は多額ノ費用一圓ニ付十圓ナルモ多額、英靈ニ對シテハ遺族  
及關係者多ク爲メ經費ノ不足ヲ生スルヲ以テ數ニ應シ金額ヲ賒用  
セラル、標上司ニ取計ハレ度ニ

答、成ル可ラヒ意見ノ如ク取計フヘシ

二、出征部隊ノ戰報發表統制ノ件

理由

從來新聞紙等ニ發表セル戰報ハ個人ノ通信等ヲ素トシ掲載セル爲  
メ價值少ナク誤リ多キト出征部隊ヲシテ精神上不安ヲ感セシムルヲ以テ  
師團ニ於テ統制シ公報ヲ發表スル、カ又ハ聯隊ヲシテ發表スルコトヲ許サ  
ズ

答、師團ニテ個人ノハ嚴禁ノ上ナラテハ發表シテラス 個人ヨリノ通信ヲ

直接新聞社又ハ知人ニ通信シタルモノカ 新聞記事トナルモノタリ混

成旅團ハモ注意シ置キタルモ尚各種ノ記事出現スルカ第ナリ成ルヘテ

意見ノ如ク努ムヘシ

歩兵第二十六聯隊

一、當聯隊ト歩兵第十三旅團司令部間トテ軍用電報連絡セシムル

答、研究スヘシ

二、營内ニ格納庫ヲ新設セシメ度

理由

現在銃隊保管中ノ馬籠、輜重車、荷車等格納場所ナキ爲メ雨  
雪ニ依リ自然腐朽衰損シ使用ニ堪エサルニ至ル

答、豫算ノ關係上差向實現困難ナリ

三、障碍物構築用鐵線ヲ配給セラレ度件

逕信省ヨリ古鐵線ヲ無償保管轉換スル如ク交渉セラレ度シ

答、既ニ交渉シ無償保管轉換ヲ若干受ケレモ其軍陣地構築ニ使用セリ

四、射撃場設備件

(イ) 射場ニ立射ノ胸牆ヲ作ラレ度(コンクリート)基本射撃ヲ爲必要ナレハナリ

(ロ) 甲射場監的據標的運轉ノ框破損セリ速カニ修理セラレタレ

(ハ) 射場ニ廁ヲ設置セラレタレ 現在射場附近ニ於テ標的庫ニ一個所ノ廁ノミニシテ且ツ之カ甚ク射場ト遠隔シアルヲ以テ不便ナリ

答、(イ) 詮議ヲ試ムヘシ

(ロ) 兼知ス

(ハ) 詮議ヲ試ムヘシ

五、演習場ニ關スル件

(イ) 練兵場障碍物ヲ補修セラレ度

鉄條網鉄線路ントモ其他若干ノ補修ヲ要スル部分アリ

(ロ) 近文台夜間使用割ヲ明示セラレタレ

實際ニ意ノ如ク使用スルコト能ハサルヲ以テナリ

(ハ) 近文台演習場ノ常盤谷ノ民有地(水田)ヲ買収セラレ度

演習實施ニ當リ支障ヲ來スコト大ナリ 却ツテも演習場ノ利便ニ

答、(イ) 兼知ス (ロ) 近文台夜間使用割ヲ明示セラレタレ

(ハ) 研究スヘシ

六、馬取扱兵休憩所新設ノ件

馬手入後又ハ學科終了後等ニ於ケル休憩所トス成ルヘク廁附近ニ新設ヲ希望ス

答 研究中

七、馬糞捨場改築ノ件

現在ノモノヲ擴大シ東門ニ近接ノ營外ヨリ取り得ル如ク改築ヲ希望ス

答 研究スヘシ

歩兵第二十七聯隊

一、滿洲派遣三年兵交代時ニ於テ機關銃隊兵員ノ不足ヲ補フ爲一部補備教育要員ヲ機關銃隊ニ編入替スル如ク諮議セラレシ

理由

交代要員派遣後ハ機關銃隊ノ兵員減少ニ特ニ歩兵砲手ノ減少ハ教育演習ニ著シキ支障ヲ來スニ至ルヲ以テナリ

答 研究スヘシ

二、歩兵隊ニ於ケル歩兵砲專習將校下士官ヲ短期間砲兵隊ニ派遣

シテ特別教育ヲ實施セラレタリ

理由

將校補備教育其他ニ於テ歩兵將校特ニ歩兵砲專習將校下士官トシテ砲兵ノ知識ヲ要スルコト益々多キヲ加フルヲ以テナリ

答 補備教育等ノ關係上將校派遣ハ困難ナラサルヤ意見差シ度シ

三、歩砲連合ノ戦術射撃ヲ師團ニ於テ統一シ實施セラレシ

理由

協同部隊互ニ協議シテ實施スルモ不徹底ニ終ルコト多キヲ以テ統一實施スルヲ有利トスレハナリ、之ニ要スル經費ハ各隊配當内ヨリ支辨スルモ可ナリ

答 研究中

四、輜重鞍馬具ノ古品一頭分ヲ歩兵隊ニ無償保管轉換受スル如ク諮議

セラレタリ

理由

新式戦用湧水車ヲ交付セラレタルモ轆馬具ヲ為部外ニ携行シ得ザルヲ以テナリ

答 申請セラレ度 希望ニ應ズル如ク取計フヘシ

五、歩兵隊乗駄馬ノ不足ヲ補充スル如ク鈴議セラレタリ

理由

乗駄馬不足ノ為第三期歩兵大隊教練及機關銃隊中隊教練歩兵砲小队教練等ニ支障ヲ來スヲ以テナリ

答 定数ニ不足ハキタメ豫備繋留ハ軍馬管理規則第軍八条ニ依ル外増加

スルノ途ナシ定数増加ハ中央部ニ於テ之認メサルヘシ

六、近文演習場ヲ師團ヲ統制シテ清掃及舊陣地ヲ復旧スル如ク區區ニ處セラレタリ

理由

夏季樹木雜草繁茂シテ歩兵ノ教練ニ使用シ得ザル地區多キト巖台附近ノ舊陣地ヲ復舊シテ之ヲ為一般ノ教習訓練ニ使用シ得ル不便アルヲ以テナリ

答 研究スレ

將來各隊作業實施後ハ必ス復旧セラレタリ

七

當座演習場ニ歩兵聯隊司令部收容シ得ル如ク工廠舎ヲ増築スルト共ニ射場ノ樹木ヲ整理シ同時ニ機關射撃ニ必要施設シ得ル如クセラレタリ

理由

現在各大隊及機關銃隊毎ニ交互ニ工廠舎ニ機關射撃ニ利用シ一般演習其他ノ訓練ニ使用シ得ルノ不便アルヲ以テナリ

答 其協助於テ考慮中ナリ

歩兵第二十八聯隊



一、近文台、使用制限ヲ緩和セラレ度シ

理由

乙地域、使用日ニ在リテハ其濫用地域狭キ為メ各隊混滞ノ状態ニ生ズルヲ以テ必スモ地境ヲ嚴守セザルニ差支テテ如ク改正シテ使用別當部隊ニ於テ優先權ヲ有スル如クセラレ度

答、規定ヨリトシ必要ニ應ジ使用部隊相互ニ協定セラレタリ

二、(イ) 滿洲派遣部隊ノ階級上ノ定員外凡上等兵ノ缺員補充ニ對シ在旭部隊ノ定員中ノ上等兵ヲ派遣スルコトヲ目合ス 理由アリ

(ロ) 派遣部隊ノ定員内ノ上等兵ノ死亡ヨリ生ズル缺員ニ對シ在旭部隊ノ定員内ノ上等兵ヲ以テ補充スルコトモ考慮セラレ度

理由

(イ) 場合ハ在滿部隊ニミ聯隊定員内ノ上等兵増加シ在旭部隊教育勤務ニ支障ヲ來スヲ以テナリ

(ロ) 場合ハ在旭部隊ノ一等兵中優秀ナル者ノ進級ヲ阻害スレナリ

答、考慮スヘシ

三、陸演習場ニ打上煙火用筒ヲ備付ラレ度

理由

射撃ノ終始ヲ一報ニ告知スル為ニ必要ナレハナリ

答、兵器部ニ備付アルヲ以テ適宜利用セラレ度

四、土器具廢兵器ノ圖匙(大)ヲ雷除ケ用及其他ノ作業用トシテ普通物品ニ保管轉換スル如ク取計ハレ度

理由

尙其員數ハ逐次増加シテ中隊約十個宛位希望ス

形隊ニ於テ是非此ノ種ノ器具ヲ必要トスレハナリ

答、差支ナキモ員數ハ僅少ニシテ隊ノ要求ヲ充シ難シ

五、本年度ニ於テ屯衛戍地ニ於ケル准士官以上ノ拳銃射ヲ實施スルヤ否

理由

九

ヤ業リ度

理由

目下拳銃所持者を増加シ又時局柄實施ヲ希望シテハナリ

答、師團トシテハ別ニ計畫ナキモ右隊ノ意見系知レタレ

六、當麻演習場ノ廠舎ノ北方川ニ通スル道路以東ノ森林ヲ伐採セラレ度

理由

射場ヲ廣ク使用シ得レハナリ

答、研究スヘシ

七、當麻演習場ノ延岡附近ニ一々大隊分廠舎ヲ構築スルカ若クハ現位置

ニ一々聯隊分ノ廠舎ヲ設ケラレ度

理由

現廠舎ヨリ延岡ハ遠隔シアルカ為演習場ヲ廣ク使用シ得ザルトテ大隊ヨリ

廠舎ヲ得ザルヲ以テ全聯隊同時ニ廠舎ヲ得ルカ為ナリ

答、歩ニハ四答ニ同シ

八、基本射撃場三百米射梁後方ハ湿地ナルヲ以テ積土セラレ度

理由

運動ヲ伴フ射撃ノ際甚ク不便ナレハナリ

答、研究スヘシ

九、近文台他笹等ノ大部ハ速ニ除キセラレ度

理由

目視及運動困難ナレハナリ

答、當部ニ於テハ考慮スヘキモ右隊ノ擔任區域ハ右隊ヲ清掃スル

如ク好メラレタレ

一〇、美瑛廠舎ハ歩兵聯隊完全ナル時幹部候補生短期現役兵等

ヲ合スル全聯隊ノ廠舎ニ階シテハ狹隘ナルヲ以テ少クモ一兵舎ヲ改

(増)築セラレ度

理由

宿營並ニ肉務上必要ナルナリ

答、現在ノ施設ヲ以テ融通セラレ度シ

二、戦死者遺族ニ對シ戦死直接隊ヨリ將校ヲ派遣シテ慰問ヲ行フ如ク取計ハレ度シ

理由

從來衛戍地附近ノ戦死者遺族ニ對シ戦死直接慰問ニアルモ遠隔ノ地ニ在在スル者ニ對シテハ文書ニ依ル慰問ノ外正規ノ方法モ無し、戦死者ノ英靈ニ對シ深厚ナル敬意ヲ表スルト共ニ遺族ニ對スル多大ノ同情ヲ表現スルコトヨリ考フルモ至當ナリト信ス 現ニ第二師團管下ニ於テハ實行中ナリ

答、費用ノ支出法ハ規定ナキニ付現行ニテハ實施不可能ナルモ第二師團ノ例ニ就テハ慰問費ヲ以テ進テ研究スヘシ

三、聯隊内ニ兵舎ヨリ分離セル位置ニ瓦斯室ヲ設ケラレ度シ

答、研究中

三、歩兵合同演習馬場ニ隣接セル屋外馬場ニ細砂ヲ敷カレ度シ

理由

冬期以外ノ使用ノ為現在如キニテハ滑リ易ク頗ル危険ナリ

答、餘議ヲ試ムヘシ

### 騎兵第七聯隊

一、軍曹伍長ノ定員ヲ一時増加スル如ク配當セラレ度シ

總員	服部旅團	分派遣	補備教育	現在員	摘	要
二五	一三	二	三	七	本部三、中隊四	

右表ノ如キ狀況ナリ以テ演習勤務上甚シク不足ヲ告ケアルニ付之カ緩和ヲ必要トスレハナリ

二、

答 考慮スヘキモ定員増加ハ中央部ニ於テモ詮議セサルヘシ  
二 師團行事中部隊ノ經理、兵器検査等ハ三月下旬若クハ四月上旬  
頃實施セラル、如ク配慮セラル度シ

理由

三月下旬及四月上旬ハ融雪期ニシテ比較的凍習困難ナル時期  
ナルヲ以テ此ノ時期ニ於テ諸検査ヲ行ハス為習實施容易ナル時期  
ニ於テ諸検査ヲ行ハスル時ハ教育上有利トハナリ

答 考 慮 スヘシ

三一ヶ中隊滿洲派遣間臨時傭人ヲ引續キ傭役ノ件其筋ハ手續取計  
ハレ度

理由

補備教育其他今年度特異事情ニ基キ諸勤務充當要員ヲ  
求ムルニ困難且勤務繁劇ナルヲ以テ實情之ヲ必要トスルニ由ル

答 其筋ニ要求中

### 野砲兵第七聯隊

一 文庫費ノ増額ヲ希望ス

理由

文庫費ハ毎年甲圖ニシテ毎月終謀本部發行ノ戦史書籍ヲ  
購入セバ残額ヲ以テシテハ消耗補充ニ至難ナル現況ナリ特ニ當師團如  
キ一衛戍地ニ多数聯隊集結シタル場合ニテハ各隊費用ヲ合シ備  
行<sup>本</sup>圖書室ヲ擴大シ一圖書館ヲ設置シテ廣ク内外軍事社會  
等ニ関スル書籍ヲ蒐集閱覽セシムル如クセバ最モ適當ナリ

答 増額ハ不可能ナラン 偕行社ノ件ハ研究スヘシ

二 化學戰及機械化兵團等ニ對スル戰鬥行動ノ活動寫真ヲ教育上ニ參考トシ  
テ(相當權威アリ)配布ヲ希望ス

答 師團司令部保管ノモノヲ適宜利用セラルル

三、衛戍地附近並射場附近ノ空中機(斜無直)ヲ速ニ撮影配布スル如ク

取計レ度

答 研究スヘシ(希望ヲ得ルニシ)

四、混成旅團補充要員ヲ携行セシムキ刀剣ハ部隊在庫品ニ既附カ

刀剣ヲキトキハ兵器部保管既附カ刀剣ヲ充當セラレ度

理由

交付ニ當リテハ先ツ既附カ刀剣ヲ充當スル旨旨ニ合スルヲ以テ

答、規定セラレタル通りトス

五、師團兵器合同修理工場ニ於テ部隊ノ練習用具ノ一部ノ修理ヲ實施セ

度

理由

野砲隊ノ冬期作戦資材中砲車機等ハ准兵器タル性質ヲ

有スルモノニテ是ノ如キモノ、修理ハ兵器ト同様合同修理工場ニテ實  
施シ得ル如クセラレ度

答、兵器類似品ハ作業ノ餘力ヲ以テ希望ニ應ズヘシ

六、新馬調教手ヲ滿洲派遣部隊ノ帰還途ニ從來ト同様ニ準備レ得ル如ク

セラレ度

答、昭和七年陸滿善第三三〇二號同第三四六號ニヨリ通牒セル北丙

第二二號同第二五號ノ件ハ本年三月陸滿機關第六號ニヨリ六月

限り廢止セラルルコトニ決定シタルニ付業知アリ度

但シ更ニ要求ハ試ムヘシ

七、師團無線班ニ對シ其内務ヲ監督シツワアル隊長ハ懲罰權ナキヤ明  
瞭ニセラレタレ

答、懲罰權アリト解ス

函館重砲兵大隊

一、高射砲同觀測手六名ヲ五月頃約二週間浜松陸軍飛行學校又ハ  
野戦砲兵學校ニ派遣シ飛行機ニ對スル實物觀測教育ヲ實施  
スル如ク取計ハレ度

答、研究スヘシ

二、隨時檢閲兵器及經理檢査ニ若干ノ日次ヲ間スル如ク顧慮セシ  
度

答、顧慮スヘシ

三、本年年度ノ如ク既教育補充兵ヲ豫後備兵ト別ニ召集セラル、  
トキ、其召集解除期日カ未教育補充兵ノ召集解除ト同時ニ尤如  
クセラレ度

答、貴意見ニ沿フ如ク取計スヘシ

工兵第七大隊

一、大河ノ渡河演習實施ノ爲石狩川河口附近ニ簡單ナル演習廠舎  
ヲ設置セラレ度

理由

砂川演習場ハ急流ニ於ケル渡河ノ演練場トシ必要ナルモ河幅小ニシテ  
大河ノ渡河演習ニ適セサルヲ以テ別ニ河口附近河幅大ナル場所ニ演習  
場ヲ必要トス

答、差向詮議困難ナラン

二、荷物自動車ノ配當ヲ望ム

理由

材料運搬ヲ兼テ幹部ニ運轉法ノ教育ヲ實施シ度  
尚攻撃ヲ築城ノ際ニ於ケル戦車ノ代用トシテ使用シ度

答、詮議シ難シ

三、近支各工兵隊作業場之各中隊一個宛、材料庫ヲ建設セラレ度

理由

目下鎮守監演習際、実施シタル「バラック」ヲ臨時材料庫トシテ應用シアルモ、狹隘且ツ風雨ノ爲、材料保存上不適當ナリ

答、差向於該議ニ難シ

四、近支各演習場ノ灌木及雜草ノ拔根作業ヲ地方人夫ニテ實施セラレ度

理由

兵力ニ依ル清掃ハ年々實施セラルモ、灌木及雜草ノ刈取焼却程度ニシテ、效果甚少、有根本的清掃ヲ必要トス、然レ共兵力ヲ以テ拔根作業ヲ行フトキハ、甚シク教育ヲ阻害スルヲ以テ、地方人夫ニ依リ實施ヲ望ム

答、實施シテ

五、七管ニ材料庫ヲ新設セラレ度

理由

目下急造「バラック」ニ多數ノ練習用具材料ヲ格納シアルモ、雨漏ノ爲、材料ヲ徒ラニ衰損セシムルモ甚クナリ

答、其節ニ要求レアリ

輜重兵第七大隊

一、當大隊ニテ活動映寫器ヲ備付シ且ツ映寫場(講堂)ノ新設ヲ希

望ム

理由

教育上有利ニ利用センカ爲ナリ

答、師團ヲ令部備付ノモノヲ適宜利用セラレタレ

二、滿蒙ニ於ケル實寫映畫ハ少クモ各隊ニ日間使用シ得ル如ク配慮

王

ヲ希望ス

理由

勤務其他ヲ當日見得サリシモノアリテ徹底ヲ缺クテ遺憾トスルニ依ル

答 希望ニ副フ如ク考慮スヘシ

三 衛戍地附近ニ水馬演習場ヲ設置セウレ度

理由

教育ノ徹底ヲ期センカ為ナリ

答 研究スヘシ

四 毎年少クモ一回航空工廠トノ連合演習ヲ實施セウレ度

理由

對空教育ヲ實施スルモ航空機ニ對スル實地体験ヲ得セシムルノ必要アレハナリ

答 毎年少クモ一回ハ不可能ナルモ本連合演習ニ就テハ考慮ス

五 クリソクノ渡過施設ヲナシ演練シ得ル如ク設備サレ度

理由

教育ノ徹底ヲ期センカ為ナリ

答 附近ノ地區地物ヲ利用シ教育セウレタシ

六 衛戍地附近ニ渡船演習場ヲ設ケラレ度

理由

教育ノ徹底ヲ期センカ為ナリ

答 差向論議シ難シ

七 近久演習場ニ小幡橋ヲ架設サレ度

理由

駄輓馬部隊ノ渡橋教育ニ必要アレハナリ



答 差向詮議シ難シ

八、市内活動寫真館ノ休日ニ於ケル開始時刻ヲ午後零時五分頃ヨリ午後四時頃迄トスル如ク配慮アリ度

理由

現在八午前十時頃ヨリ午後三時頃迄ニテ晝食ヲ營外ニ行フ結果無用ノ失費其他弊害多キニヨリ

答 營業者ト交渉ヲ試ムヘシ

九、夜間表門歩哨ヲ撤去シ控兵ヲ以テ監視スル如ク兵ノ夜間勤務ヲ緩和サレ度

理由

勤務充當人員ノ減少ニ伴ヒ兵ノ勞務ヲ輕減スルヲ可トスヘキニ依ル

答 衛兵勤務ハ平時教育課目中主要ナルモノナリ勞務輕減ノ

目的ヲ以テ歩哨ヲ撤去スルハ適當ナラス

一〇、水道貯水池附近ニ雨覆休憩所ヲ設ケラレシ度

理由

野外演習實施ノ際必要ナレハナリ

答 差向詮議シ難シ

津輕要塞司令部

一、遺骨還送ニ方リ師團長ニ贈呈セラルル化粧環等ハ函館ニ於テ師團ヲ代表シ少シモ一箇供ヘラルル様取計ハラレシム

理由

長官、市長等ノ供物ハ函館ニ於テ供ヘラレ又還送途中ニ於ケル軍部及地方官民ノ供物モ函館棧橋駅ノ燒香場ニ供ヘラルルヲ以テ師團長ノモトモ同地ニ於テセシレ爾後遺骨ト共ニ還送ラルル方ニ適當ナリト

認めらるる因ル

答 汽車輸送ニヨリ破損多キヲ以テ各衛戍地到着後慰靈祭場ニ

供フル如クセリ

二 派遣部隊補充員ノ出發及傷病兵遺骨等ノ還送日時ハ<sup>二得</sup>為ル限リ速

ニ衛戍司令官ニ通報セラルコトヲ希シ

之カニ為候書ハ書留ニテ送達セラレメシ

理由

最近稍々迅速ニ取扱ハレアルモ未タ新聞ノ發表及市役所等ノ聞上

司令部ヨリモ早キノミナラズ甚シキハ出發後ニ通報ヲ受テ還送迎業務

ノ統制上又障碍カニナルニ因ル

答 此意見ニ添フ如ク好カムヘシ

成シ得ル限リ速カニ通知シ居ルモ廣島衛戍病院ヨリノ通報力遅ル

コト往々アルヲ以テ己ムヲ得ス選ルルコトアリ

三 上等工長ノ人事ハ各師團毎ニ於テスルヲ止メ陸軍省ニ於テ全國ヲ統一

シテ行フ如ク改メラレシム

理由

上等工長ノ進級昇給ハ各師團毎ニ遅速アリテ其遅キ師團ニ在リテハ

士氣ヲ沈滞セムルノミナラズ一身上ノ都合ニヨリ他師管ニ轉屬セシムル

トモ亦容易ナラサルニ因ル

答 承リ置ス

本意見ハ數年前ノ舊制度ニ復活セントスル意ナリ尚研究スヘシ

四 青年將校<sup>及下士官</sup>准士官ヲシテ戰時勤務ニ服スル機會ヲ與フル如ク考慮

アリタシ

理由

滿洲事變ヲ際會シ軍ニ從フト内地勤務ニ從事スルトニ於テ其奉公

ノ精神ニシテ田兵アルヘカラサルハ勿論ナルモ年少下級幹部<sup>ハ</sup>ヲシテ其志氣

ヲ養振作シ一死報國ノ表情ヲ具現セシムルニ之ヲ彈雨ノ中ニ投ス  
ルコト最モ緊要ナリト認ムルニ因ル

答 最モノ意見ナリ努力カスヘシ

札幌聯隊區司令部

一、聯隊区司令部勤務將校ノ現地戰術ヲ毎年實施セラレタリ

理由

本年實施セラレタル聯隊区司令部勤務將校ノ現地戰術ハ平時  
職務ノ關係上自然遠キアリソアル吾人ノ戰術能力發達上利スル  
所大ナルモアリシニ、ニナラス各自擔任業務ノ連絡及改善ノ為モ  
得タル所多カリシヲ以テナリ

二、在隊間訓練セラレタル敬禮動作ヲ在郷間ニ於テモ嚴肅ニ保持セ

シムル如ク特ニ指導セラレ度

理由

在郷間ノ敬禮ヲ嚴肅ニ保持セシムルコトニ關シテ當部特ニ留意アリ  
軍隊ト相俟テ本趣旨ヲ徹底セシメ度

答 各隊ニ於テモ注意指導セラレ度

三、監學校配屬ノ佐官ヲモ點呼執行官ニ充當スル如クセラレ度

理由

時局ノ關係上聯隊附佐官ノ業務ハ一層繁激ヲ加ヘソアルヲ以テ  
之ヲ輕減スル為有利ト信スレハナリ

答 配屬將校ノ本務及隊附勤務ニ支障ナキ限り各隊ニ於テ點呼

執行官ニ充當スルハ宜シクナリ

四、豫後備召集ノ期間ニ於テ二三日間(或ハ二日間)在郷軍人(要ス  
レハ幹部ノシ)及青年訓練指導員ニ對シ聯隊区司令部ヲ教育訓

練ノ機會ヲ與フル如クセラレ度、

理由

在郷軍人會ノ振興ヲ圖リ特ニ多數ノ幹部ニ對シ深刻ニ指導ヲ得ル爲メ又召集中ノ青年訓練指導員ノ識量能力ヲ向上セシムルニ價値大ナルヲ以テナリ

答、在郷軍人會及青訓関係事項ヲ聯隊本部ニテ指導スル

ハ效果アリト認ルルモ特別ニ日次ヲ設ケ實施スルハ責任所在上面

白カラス故ニ是等指導ヲ圖シテハ關係者相互間ニ於テ協定

シ聯隊司令部ノ希望ニ副フ如ク教育指導シ又ハ便宜ヲ與フル

如ク配慮セラレ度

五、歩兵隊を除隊ノ際可成木銃ヲ携帶シ郷黨ニ歸ラシムル如ク指導獎勵セ

ラレ度(尚各隊ニ於ケル銃剣術ノ競技會ノ賞品ニハ可成木銃ヲ與

フル如クセラレ度)

理由

現下ノ非常時ニ即シ在郷軍人ニ當部ニ於テハ特ニ武道ヲ獎勵シ

アリテ在郷軍人ハ出來得ル限り各人ニ木銃ヲ所持スル如クシ日常中間ニ

於テモ木銃ヲ操作スルヲ指導シ以テ武技ノ向上ニ努メタル爲

答、隊長ニ於テモ考慮セラレ度

六、當聯隊司令部ニ部員(少佐大尉)一、下士官(書記)二ニ増加セ

レ度、

理由

本陽聯隊ニ管内ハ本道ノ中樞ヲ占メ各方面ニ對シ接觸交渉ノ機會多

ク且部員ノ一名ハ道廳青訓事務ヲ囑託シアリ又管内ノ人口、在郷

軍人並青年訓練等ニ於テモ他管ニ比シ其數多ク從テ關係

事務廣汎ニシテ多忙ヲ極メ目下ノ人員ニテハ事務遂行上困

難ヲ感スル實情ニ在リ

答、承り置つ(定員増加ハ詮議セラレサルヘシ)

七、陸軍補充令第一〇八條及兵進級規則第一三條ノ特別任官進級ノ恩典ニ浴スル者ヲ更ニ若干増加ノ詮議アリ度

理由

在郷軍人中現在本恩典ニ浴スル者ハ毎年一聯隊區僅ニ三名位(約八千名ニ一名ノ割合)ニ過キサルモ令會指導上及在郷軍人ノ活動ヲ促ス上ニ於テ尚若干此詮議ヲ緩和セラル、ハ聯隊區司令部業務施行上便ナレハナリ

答、承り置つ

八、特別志願士官ノ志願票ヲ聯隊司令部ヨリ師團ニ送付スル中期限ヲ若干延ス如ク機ヲ見テ上司ニ意見提出アリ度

理由

現在規定ニテハ特別志願士官出願者ノ願書提出期限ト聯隊

司令部ヨリ師團ニ志願票ヲ送付スル中期限ト同一ナル為聯隊司令部ニ於テ志願者ノ身上調査ヲ遂クル餘猶ナレハナリ

答、貴意ノ如ク取計フヘシ

九、在郷將校ノ召集回数ヲ増加スル如ク法規ヲ改正シ本機會ニ於テ聯隊司令部ヨリ此等將校ヲ教育指導シ得ルノ機會ヲ與ヘシ度理由

現下ノ非常時ニ鑑ミ在郷將校ノ教育訓練ヲ一層徹底セシメ且在郷軍人會幹部トシテノ要素ヲ更ニ向上セシムル要アルヲ以テナリ

答、回数増加ハ望ム所ナルモ經費ノ關係上蓋シ困難ナラン

旭川聯隊司令部

一、第七師團召集及馬車自動車徵發規定刷新ノ件  
右規定ハ補修正事項相當多ク且ツ年數ヲ經取扱上不便ナルヲ以

于此際刷新ニテ各町村ニ達テ配布セラレタリ

答 近ク改正配布スル豫定ナリ

二 下士官兵除隊後ニ於ケル階級秩序ヲ尊重スル如ク教育指導セラルル協協力ヲ要望ス

理由

皇軍ノ特質タル階級秩序ノ格守ハ最モ重要ナルニ係ラス過去ノ実績ハ社會的風潮ノ影響ヲ受ケ除隊後ノ下士官兵中階級秩序ヲ輕視セントスル傾向顯著ニテ本會ニ於テ本年三月特此弊風ヲ打破セントシ規約ヲ改正セシモ在隊中ニ於テ此点ヲ重要視シ協力一致國軍素質向上ノ最モ緊要ナリト信ス

答 各隊ニ於テモ留意指導セラレタリ

三 現役免除者ノ病名通知ノ件

各部隊ニ於テ現役ヲ免セラレタル者ハ尔後ノ召集ニ關係ヲ有スルコト

テ其ノ病名程度及職業ヲ氏名ト共ニ通牒スル如クセラレタリ

答 病名程度ハ診断書ニ記載シテリ 職業ニ就テハ研究スヘシ

四 第七師團教育規程第七十ヲ左記ノ如ク改正セラレタリ

(一) 部隊長ハ教育終了後一週間以内ニ教育實施ノ景況(教育期間指導員ノ階級、人員教育實施ノ要領、一般ノ成績、各人毎ノ成績ノ概況(甲乙等)並指導員タルノ適否、將來ニ關スル意見等)ヨリ師團長ニ報告シ且聯隊ヨリ本部ニ通報スルモノトス

(二) 部隊長ハ現役滿期トシテ下士官中青年訓練所指導員志望者アル時ハ銓衡ノ上適任證(適宜)部隊長ニ於テ定ムコトヲ附與シ且其關係聯隊ヨリ本部ニ通報スルモノトス

答 將來規定改正ノ際考テ慮スヘシ

五 青年訓練指導員教育ノ成績通報ニ關スル件

第七師團教育規程第七十ニ依ル各隊ヨリ聯隊ヨリ本部ニ通報セラ

此中青年訓練指導員ノ教育實施景況ハ今少シク的確ニ記載  
セラルシ(單ニ教練成績概不良好ニテ所期ノ目的ヲ達成シ得テ  
ルモノト認ム丈ニテハ當部ノ指導上ニ參考トシテハ價値極メテ乏シ  
答 記載方ニ就テハ各部隊ニ於テ注意セラルシ

六、青創主事軍隊宿泊講習ニ関スル件

一昨々年師團ニ於テ實施セラシク青創主事軍隊宿泊講習會ハ其  
成果甚大ナルモノアリテ因ニ開催ヲ希望スル者不尠昨今主事ノ交  
代頻繁ナルト今尚教練無理解ナル者アル現狀ニ鑑ミ短期ト雖モ此種  
講習會ヲ實施シ青創振興ニ資セラルンコトヲ望ム

答一、本講習會軍隊側後援ノ下ニ道廳ノ主催ニ依リ實施セルモノ  
ニテ昨年度ハ道内不漁凶作及水害ノ為道廳ニ於テ之ヲ中止  
セリ本年度ハ關係ノ希望(時期未定)アリ

二、右講習會實施ニ關シトテ各隊ニ於テ便宜ヲ特ヘラシク

七、下士官兵演習召集者ノ進級ニ関スル件

演習召集中ノ下士官兵ノ進級ニ關シ在郷間成績調書未着ノ  
為メ或在郷間成績不良ノ為進級出來ス等ノコトヲ町村ニ申出テ  
町村吏員トシテ非常ニ困惑セシモノ往々アリ此ニ關シテハ前年  
意見ヲ提出シアリシモ其ノ取扱ニ關シテハ秘密具ヲ慎重ニセラシク

答、各隊ニ於テ注意セラルシ

八、現役免除者病名通知ノ件

各部隊ニ於テ現役ヲ免セラシク者ハ爾後ノ召集ニ關係ヲ有スルコト以テ  
其ノ病名程度及職業ヲ氏名ト共ニ通牒スル如クセラシク

答、貴意ニ副フ如ク取計フヘシ

### 釧路聯隊司令部

一、在郷軍人心得ニ就テ徹底的教育指導ヲ望ム

理由

簡閱點呼<sup>ニ</sup>於テ點呼當日便宜冬會ヲ願出スルモノ相當タク數アリ  
情ヲ聞ケハ何レモ己ヲ得サル狀況ニアルモ豫メ熟慮処置セハ避ケ得  
ラレサル非ス聯隊<sup>ニ</sup>司令官部<sup>ニ</sup>於テモ之カ指導<sup>ニ</sup>好カラスヘキモ部隊<sup>ニ</sup>於  
テモ除隊ノ際徹底的<sup>ニ</sup>教育指導<sup>ヲ</sup>望ム

答、各隊<sup>ニ</sup>於テモ留意<sup>ニ</sup>教育<sup>ヲ</sup>望ム

二、在郷軍人ノ兵役<sup>ニ</sup>依ル諸願<sup>ニ</sup>届書類<sup>ニ</sup>添附スル地方醫師<sup>ニ</sup>診斷  
書ノ料金高キニ過久(五日乃至十圓) 關係醫師會等<sup>ニ</sup>師團ヨリ  
交渉セシクシ

理由

簡閱點呼、演習召集、散兵<sup>ノ</sup>検査等ノ場合<sup>ニ</sup>於テ疾病<sup>ノ</sup>為メ應召<sup>ニ</sup>不可  
能ナル狀態ニアルモ以テ家計貧困<sup>ニ</sup>テ醫師<sup>ノ</sup>診斷書ヲ要スル能ハス為メ無  
故不参<sup>若クハ</sup>不應召者トナリ或ハ重態<sup>ヲ</sup>願<sup>ハ</sup>ス押シテ参會<sup>シ</sup>之カ

為益、病勢<sup>ヲ</sup>昂進<sup>セシムル</sup>等面白カラザル現象アルヲ以テナリ

答、承リ置ク

三、出征軍人<sup>ニ</sup>シテ戦病死者又ハ負傷者アリタル場合所屬部隊  
長ヨリ本籍地<sup>ノ</sup>支廳長及町村長へ通知セラル、所屬部隊長へ指示セ  
ラレ度

理由

兵事主任會議<sup>ノ</sup>際管内町村長<sup>ノ</sup>提出意見<sup>ニ</sup>依レハ遺族<sup>ノ</sup>家在  
ノ<sup>ニ</sup>承知<sup>シ</sup>アリ支廳長町村長<sup>ニ</sup>全ク承知<sup>セ</sup>ス面目<sup>ヲ</sup>失スルコトナク  
應急<sup>ノ</sup>処置<sup>ヲ</sup>慰恤<sup>ヲ</sup>遲ルルニ付必ス通知<sup>スル</sup>採取<sup>シ</sup>度

答、所屬部隊長<sup>ニ</sup>テ實行<sup>セ</sup>ラレ度



SHIP # 10130  
DATE 5  
ITEM # 37

